

函館工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	近代文学講読	
科目基礎情報							
科目番号	0240			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	生産システム工学科			対象学年	5		
開設期	2nd-Q			週時間数	2		
教科書/教材	『ちくま小説入門』（筑摩書房）、国語辞典等（必要なものは授業中に指示する）						
担当教員	鳴海 雅哉						
到達目標							
1. 文学作品を読み、内容を理解することができる。 2. 「行間を読む」ことができる。 3. 文学作品に興味を抱くことができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	文学作品の内容を深く理解し、感想を言うことができる。			文学作品の内容を理解することができる。		文学作品の内容を理解することができない。	
評価項目2	「行間を読む」ことができ、作品を深く味わうことができる。			「行間を読む」ことができる。		「行間を読む」ことができない。	
評価項目3	文学作品に興味を抱くことができ、他の作品を読もうとすることができる。			文学作品に興味を抱くことができる。		文学作品に興味を抱くことができない。	
学科の到達目標項目との関係							
函館高専教育目標 D							
教育方法等							
概要	近代の小説を読み、文学のおもしろさと奥深さについて講義する。加えて、内容理解のための時代背景等の解説も加える。基本的には近代文学とは何か、文化とは何かについて話すこととなる。（留学生向け）なお授業内容は公知の情報のみに限定されています。						
授業の進め方・方法	基本的には、「事前に各自で読解」⇒「授業で解説」⇒「受講生に内容を確認」⇒「課題提示」⇒「次時で課題チェック、各自で読解」というサイクルで進めていく。						
注意点	事前に内容を理解していないと授業が理解できないので、時間を見つけて積極的に読解を進めてほしい。 ※この科目の授業は第2クォーター（前期後半）に2時間連続で実施される。 J A B E E 教育到達目標評価：定期試験60%(D-1)、小テスト20%(D-1)、課題20%(D-1) ※成績は自分で計算できるようにしている。定期試験点及び小テスト点は各自で覚えておくこと。課題についても各自で提出・未提出を把握しておくこと。試験点数及び課題未提出回数の問い合わせは拒否する。 ※小テスト及び定期試験が未記名であったり、不備が認められる場合は採点をしない（0点となる）。問いの指示に従っていない場合も採点をしない、または減点とする。また、解答用紙における字が乱雑であると認められる場合は減点が不正解扱いとする。その他試験に関する注意事項は問題用紙に記載することとする。 ※提出課題が不備であったり、取り組み不足が感じられたりする場合は減点または0点とする。当然、課題および試験の白紙提出は「やる気無し」と判断するということである。 ※小テスト及び定期試験の点数が6割を下回った者については再試験を実施する。ただし、小テスト及び定期試験を欠席した者（特別欠席は除く）、白紙提出の者の再試験は実施しない。原則として「申し出制」とし、適切な時期に受験することを怠った場合は再試験を受けられないこともあり得る。 ※特別欠席で小テストや定期試験を受験できなかった場合は追試験を受けることができるが、原則として「申し出制」とし、適切な時期に受験することを怠った場合は追試験を受けられないこともあり得る。 ※再試験を自分の判断で欠席した者（結果として合格点になるだろうという見通しの末、不合格となったりする）への配慮はしない。また、連絡（基本的にTeamsによる連絡）を見落としたことによる再試験の欠席及び課題未提出も配慮しない。 ※課題未提出については配慮しない。後日提出を受理したとしても、合格点となることを保証しない。 ※最終成績については、小数点以下を切り捨てる。極端なことをいえば、59.999点でも不合格とする。配慮はしない。 ※課題の提出が一切無かった場合、試験点及び小テスト点のみで合格点に達していたとしても不合格とする。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	2ndQ	9週	ガイダンス、芥川龍之介「蜜柑」		授業の進め方等がわかる。小説の読み方について理解できる。授業内容を理解できる。		
		10週	星新一「ボッコちゃん」、中村文則「郵便局で」		授業内容を理解できる。		
		11週	中勘助「銀の匙」		授業内容を理解できる。		
		12週	梶井基次郎「闇の絵巻」、葉山嘉樹「セメント樽の中の手紙」		授業内容を理解できる。		
		13週	村上春樹「四月のある晴れた朝に100パーセントの女の子に出会うことについて」、小テスト		授業内容を理解できる。試験内容を理解できる。		
		14週	小テスト返却、角田光代「ふたり」（授業の進み具合によっては教材を追加することもある）		授業内容を理解できる。		
		15週	前期期末試験		試験内容を理解できる。		
		16週	答案返却・解答解説、近代文学についてのまとめ		試験内容を理解できる。授業内容を理解できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	小テスト	課題	態度	ポートフォリオ		合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	40	10	10	0	0	0	60

專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	20	10	10	0	0	0	40